

## 連合神奈川第31回中央委員会

日 時：2020年8月25日（火）

場 所：ワークピア横浜

報告者：高橋 和彦（県連）

連合神奈川は8月25日（火）、ワークピア横浜において第31回中央委員会を開催し、「2021年度に向けた政策・制度要求と提言」を決定しました。今回の中央委員会は、当初7月10日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の一定の終息がみられることを期待し、8月25日開催となりました。さらに中央委員の人数を減らすなど参加規模を縮小し、新たな集会ガイドラインに沿った形での開催となり、会場を2つに分けるなどの対応をとり開催されました。



吉坂会長の挨拶では、①新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、連合神奈川にも雇用に関する深刻な相談が寄せられており集团的労使関係の重要性が高まっている。②新型コロナウイルスは我々の生活や働き方に大きく影響を与えており、この経験を次につなげる必要がある。③連合運動においても、会議や対話のあり方などの見直しを検討している。など、新型コロナウイルスへの対応を中心に話された。また、政治課題については、野党合流の現状を述べ、挨拶とされました。

中央委員会の議事では、議長に梅谷中央委員（自治労）が選出されたあと、林事務局長から中間活動経過報告、阿部副事務局長が中間会計報告を提案、それぞれ承認されました。その後、第1号議案として金井副事務局長から2021年度に向けた政策・制度要求と提言について提案がなされ、承認されました。

